

市町村名	学校名等	活動の区分	
橿原市	橿原市立大成中学校	学校支援	放課後 子ども教室
(住所) 奈良県橿原市小綱町 7 7 - 2 (電話) 0744-22-6391		○	
<p>(活動の概要)</p> <p>放課後の学力向上支援活動</p> <p>読書を通じて生徒が、図書への関心を高め、読解力や表現力、想像力を豊かにし、学力向上、人間形成に寄与できるよう学校生活の図書室を活動拠点に身近な内容で、生徒と連携しながら地道な支援活動を継続的に取り組んできました。</p> <p>今年度の主な活動内容は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 読み聞かせ支援活動</li> <li>(2) 蔵書管理の支援活動</li> <li>(3) 図書貸出運営の支援活動 (昼休み・放課後)</li> <li>(4) 「図書だより」の定期発刊、広報支援活動</li> <li>(5) 「学級文庫」開設の支援活動</li> </ul>			

## 《学校支援》

### 1 【実施主体】

大成中学校地域連携事業本部

### 2 【活動支援スタッフ体制】

コーディネーター 1人

ボランティア登録数 5人

### 3 【主な活動内容】

#### (1) 読み聞かせ支援活動

実施時期 平成23年5月～平成24年1月 年間 3日実施

昼休み及び放課後の時間を利用して、地域ボランティアと生徒が協働しての「図書読み聞かせ」活動を図書室で実施し、生徒の読書力、表現力向上の支援と地域との交流機会の役割を志向して、学期毎に各1回開催しました。



#### (2) 蔵書管理の支援活動

実施時期 平成23年4月～平成24年2月 年間 65日実施

図書室蔵書について、より健全な管理と効果的な利用を目指し、生徒と連携しながら常時、蔵書の整理を行うと共に、蔵書総点検棚卸しの実施、蔵書の保存性強化の為に全図書の表紙装丁を、年間通じて全スタッフで活動、取組みました。



#### ○蔵書の総点検、棚卸しの実施

蔵書の管理状況把握の為に、春休みを利用して保有蔵書(約9,000冊)について総点検棚卸しを実施、全蔵書の約99%の点検、確認を終えることが出来ました。

○蔵書の整理と蔵書カバーの装丁、新規購入図書の受入れ処理作業の実施

毎週、月・金曜日の2日を活動日として地域ボランティア3～5名により、所蔵図書類の定期整理を実施し、また、前年に引続き蔵書本のカバー装丁作業を実施（今年度は約2,500冊を装丁済）、加えて新規購入図書の受入れ処理を行い（今年度約1,300冊）生徒の意見を反映して図書室蔵書の管理充実に取り組みました。

(3) 図書貸出し運営の支援活動

実施時期 平成23年5月～平成24年2月 年間 115日実施

昼休みと放課後の時間帯に図書室を定期的の開館（原則登校日に開館）図書委員の生徒と連携して蔵書本の貸出し、返却処理を行っています。これには地域ボランティア1～2名が常時参加し、図書委員との協働運営、補助サポートで効果的な図書室の利用と親しみやすい環境づくり運営に取り組みました。



(4) 「図書だより」の定期発刊による広報支援活動（各月1回発刊）

実施時期 平成23年4月～平成24年2月 年間 22日実施

図書委員会を発行主体に毎月「図書だより」を定期発刊しています。この掲載に関しては図書委員の生徒、先生方と連携し支援スタッフも共同制作に参画、全校的読書啓蒙広報活動を行い、年間を通して定期的継続的な発刊によって読書への関心度を高める努力をしています。

また掲載内容にも生徒や先生方の「おすすめ本」コーナーや「蔵書紹介」欄を設け、生徒の参画意識を高めると共に、より身近で親しみやすい発刊物として取り組んでいます。

(5) 蔵書の廃棄処理と「学級文庫」開設の支援活動

実施時期 平成23年9月～平成24年1月 年間 13日実施

日頃から生徒が出来るだけ身近に本と触れ合う機会を増やすことを狙いとして図書室蔵書の整理によって廃棄処分となった図書を有効活用するため、廃棄本（今年度は258冊）を「学級文庫」として移管、各教室の「学級文庫蔵書」（各教室蔵書数としては21～22冊）として引続き利用を図りました。また、この学級文庫の運営に関しては各教室生徒の自主運営に委ねました。